

2歳児

2歳児の発達

このころは・・・

運動面では歩行が安定し、走ることも自由になってきます。「ウサギ」や「ちょうちょ」など、イメージと結びついた楽しい動きを楽しむ中で、自分の体を自分で動かす喜びを高めていきます。

「これなに?」「なんで?」と質問をしたり、何でも「自分でしたい!」と自己主張をしたりする姿が盛んにみられるようになります。うまくいかないことももちろん多いのですが「やりたい」「できる」気持ちを丁寧にくみとり「できたね」と支えることがとても大切です。

何でも自分でやりたいこの時期ですが、時には甘え、思い通りにいかないとかんしゃくを起こすなど、感情が揺れ動きます。「いや」「みてみて」は自我を育む大切な姿と捉え、思いや「つもり」を聞き取り、共感してあげましょう。

こんな遊びをいっぱいしよう

- 自分の体を自由に存分に動かして遊びましょう。
- 次にすることがわかったり、楽しみにしたりしながら、遊ぶことを楽しみましょう。
- 「おんなじだね」のうれしさを感じながら一緒に遊ぶことを楽しみましょう。
- 「〇〇のつもりで」「□□になって」など、ままごとやまねっこ遊びなどを楽しみましょう。

体をいっぱい動かして

2歳児



築山からみんなで「せーの」

思うように体が動かせるようになり、体を使って遊ぶことが楽しくなります。また、お気に入りの場所があると、安心して過ごすことにつながります。繰り返し遊ぶ中で手足の力もより高まります。もちろん大好きな大人と一緒に遊んでくれることが意欲につながるポイントです。

こんなことあるある!



「追いかけて!」と言って
走ることをとても喜びます。



何度も同じことを
したがります。



追いかけてもらえるドキドキワクワクが楽しいよ。



「自分でできる!」という
手応えがたまらなく嬉しいよ。

何度もくり返し楽しもう

歩くことが自由にできるようになるとともに体を動かすことが楽しくなってきます。「自分ができるようになってきたこと」「できそうなこと」をとにかく何度もやってみるのが子どもの発達の特徴です。何度も楽しむことがしっかりとした体作りにつながります。安全に気をつけて、まずは戸外に出かけましょう!



保育者より

自分のやり方や段取りで



自分でちゃんとできるから。

自我が強くなり、指示されることを嫌がったり、自分の「つもり」を邪魔されたりすることを嫌うこの時期、大人の働きかけに対して「イヤイヤ」と返すことがよくあります。次の活動や遊びを楽しみにしたり、自分で決めたことをしたりすることで、身の回りのことを“じぶんで”という意欲が高まるとともに、見通しを持った生活につながっていきます。

こんなことあるある!



忙しい時に限って言うことを聞いてくれない。



自分でできないのに何でも自分でやりたがるんです。



自分のやり方(つもり)があるんだもん。



自分でやってみるから、そっと手伝ってね

「どうしたかったの？」を聞いてあげよう

何でも自分でやりたいこの時期ですが、時には甘え、思い通りにいかないとかんしゃくを起すなど、感情が揺れ動きます。「いや」「みてみて」は自我を育む大切な姿と捉え、思いや「つもり」を丁寧に聞いてあげましょう。大人の「つもり」にあわせることは難しいので、「自分がこうしたかった」場面まで戻ってあげたり、うまく表現できない気持ちには、言葉を添えたりしてあげてください。



保育者より

「おんなじ」「一緒」を楽しんで

2歳児

いっしょにかくれんぼ!

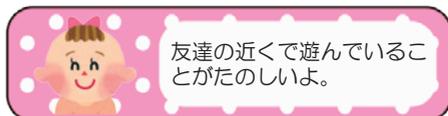
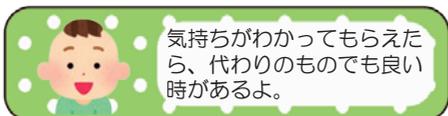


「自分を見てほしい」「一緒に遊んでほしい」という気持ちを受け止めることが満足につながります。同じ「楽しさ」を同時に味わう経験の積み重ねが、「友達と遊ぶ楽しさ」「みんなで一緒に遊ぶ楽しさ」を知ることにつながっていきます。「おぼけになってるよ」「オオカミが来たぞ」などまねっこや「つもり」があるといっそう楽しくなります。

こんなことあるある!

 友達の持っているものを欲しがります

 友達と一緒に遊んでいるのかな?



一人一人の楽しみ方を大切に

この時期の子ども達の遊びは一見すると一緒に遊んでいるように見えますが、自分の「つもり」で遊びを楽しんでいることが多いものです。ですから、その子の楽しみ方を十分受け止め、話しかけてあげてください。「もの」や「気持ち」や「場所」の共有が子ども同士をつなぐきっかけになります。友達と一緒に生活、楽しさや面白さを感じられるような機会を多く作りたいですね。



保育者より